

★なぜベネズエラへの干渉に反対するか＝バーニー・サンダース

米民主党のサンダース上位議員（2020年民主党大統領候補）はCNN主催のタウン・ミーティングでベネズエラ問題についての質問に答え次のように答えました。

質問 ベネズエラの最近の事態について、あなたは米国の干渉に反対とって、論議になっています。マドゥーロ政権の下で多くの人が飢えや暴力に苦しんでいるのに、彼は人道援助を受け入れようとしていません。こういう状況下で、抑圧的な独裁体制にある国たいて、今後、軍事的にも経済的にも米国が海外に介入することについて明確な立場をお持ちでしょうか。

サンダース議員

よい質問をありがとう。世界では恐ろしいことがたくさんおきています。ベネズエラの事態はひどいです。経済は破綻し、人々は飢えと恐怖にさいなまれています。人々の生活改善のためには国際的な人道援助が必要だと強く思います。昨年の大統領選挙は公正でも自由でもなかったことは明らかです。国際的な監視の下での自由選挙があってほしいです。

しかし私はあなたの質問に、こう答えたい。私は年ですからベトナム戦争を覚えています。米国がイラク戦争にいかないように活動しました。あの時、議会にいました。いま米国が過去にやったことを続けていくのではないかと非常に心配しています。ご存知と思いますが、米国はチリやブラジル、グアテマラ、また世界中で民主的に選ばれた政府を転覆しました。

ですから人権や民主主義を大事にするのだったら、できる限りのことをしなければなりません。大国が介入して誰を政府にするなどといえば、予期せぬ結果になることがあるのです。だから私は、独裁政権のサウジアラビアであれ、ベネズエラであれ、民主的な雰囲気を作り上げるためできることは何でもしなければならぬけれども、軍事介入を支持するわけにはいかないのです。

司会 貴方はなぜマドゥーロを独裁者とよばないのですか。

サンダース議員 昨年の選挙は民主的でなかったとってよいでしょう。しかしベネズエラでは民主的な運営はおこなわれています。要するに、私がいまよび

かけているのは、国際的な監視の下での自由選挙です。面白いことにトランプはベネズエラの事態を心配しています。しかしサウジアラビアでの選挙はどうだったのでしょうか。あの国では選挙は何もおこなわれていません。女性は第三階層の市民扱いされています。ですから民主主義にたいするトランプの心配はえり好みなのです。私の立場は世界中の民主主義への関心です。私たちはできる限りのことはすべきですが、最終的には、ベネズエラの未来を決めるのはベネズエラの国民であり、米国ではありません。

(以上)